

# Press Release



学校法人 香川栄養学園  
女子栄養大学大学院  
女子栄養大学  
女子栄養大学短期大学部  
香川調理製菓専門学校

報道機関各位

2023年10月11日 11:00

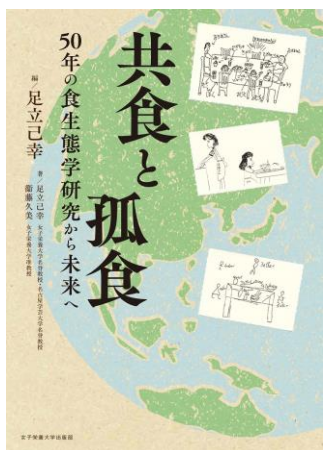
編/足立己幸(女子栄養大学名誉教授) 著/足立己幸・衛藤久美(女子栄養大学准教授)

## 「共食と孤食——50年の食生態学研究から未来へ」刊行

名付け親が思う「共食と孤食は決して対立関係ではない」

新型コロナウイルスパンデミックで揺さぶられた世界中の“共食観”に感じた新たな気づきとは

本学で食生態学研究室を創設し、長年に渡り共食と孤食に関する研究や実践を進めてきた足立己幸名誉教授が編集・執筆を、本学衛藤久美准教授が一部執筆した「共食と孤食——50年の食生態学研究から未来へ」が女子栄養大学出版部より発刊されました。生活者・研究者としての実践と、最新の国内外の研究の双方向から、共に食べることの心髄を考える1冊です。



◁ 写真

編著者 足立己幸 名誉教授(左)

著者 衛藤久美 准教授(右)

出版の企画は4年前、世の中で「共食」が注目されるなか、狭い認識でとらえられることへの危惧から、改めてその本質を伝えたいという願いによるものでした。

本書では、50年の研究と実践、さらに足立名誉教授自身の85年の共食・孤食史にも分け入って思索するとともに、衛藤准教授による最新の国内外の研究の総括も加わり、重層かつ多角的な構造で「共食」の広さ、ひだ深さ、その力を明らかにしていきます。その過程で、「共食」と「孤食」は決して対立するものではないことも浮き彫りになります。

執筆最中の2020年、新型コロナウイルスによって、世界が大きく変わりました。食生態学は何をしなればならないか戸惑いながらも、「地球サイズの共食を体験したのかもしれない」と新たな気づきを記し、共食について老若男女問わず検討できる「共食の地球地図」作りへと広がっています。

本学に「食生態学」の研究室を創設し、研究をはじめた足立名誉教授にとって、大切であったのは、学術論文としての掲載が難しいが、実践現場では必要な記録・報告書や論考、いわゆる“灰色論文”の存在でした。本書でも索引として、『参考文献・資料』としたのは、それらが宝の山のような存在であり、想いを込めたかったからです。また、執筆にあたり、本学に「食生態学研究室」を構えた時、その後の発展、新学科の設立など、創業者 香川綾先生や仲間たちとの大切な思い出を思い起こす時間になるとともに、次世代の研究者や仲間たちへ繋いでいきたい、という強い気持ちに気づいたといえます。

衛藤准教授は第3・4章の執筆を担当し、国内外において、国際動向をふまえた研究、学部時代に専攻していたコミュニケーション論の視点から共食の重要な要因を検討しました。

編著者、著者だけでなく、今まで関わった皆で作上げた本書は、多くの方に触れてほしい一冊です。それは切っても切れない「食」がテーマであるからこそ、一部の専門家だけでなく、日々の食や生活に興味を抱いている多くの方にとっての教材のひとつとなれば、と編著者・著者ともに強く願うことです。

## 書籍概要

タイトル	共食と孤食——50年の食生態学研究から未来へ
編著者	足立 己幸（女子栄養大学名誉教授・名古屋学芸大学名誉教授）
著者	衛藤 久美（女子栄養大学准教授）
サイズ	A5判（312ページ）
定価	2,750円（本体2,500円＋税）
発行年月	2023年8月
発行元	女子栄養大学出版部

## 関連リンク等

リンク先：女子栄養大学出版部 書籍ページ

<https://eiyo21.com/book/9784789550062/>

## お問い合わせ先

学校法人 香川栄養学園（女子栄養大学）

広報部 学園広報課

TEL 03-3915-3668

FAX 03-3915-3635

E-mail gkoho@eiyo.ac.jp